

総務財政委員会議事録

1. 日 時 令和2年6月11日(木) 午前10時～
2. 場 所 日田商工会館 大会議室
3. 出席者名 ・会 頭：十時 康裕 ・担当副会頭：赤尾 重信
・正副委員長：小ヶ内聡行、園田 匠
・委 員：梶原 善人、横山 俊英、高倉 貴子
・事 務 局：樋口 恒成、野依 義明、伊藤 宏、大石 昭典

4. 議 題

- (1)令和元年度事業報告について
- (2)令和元年度収支決算について
- (3)令和2年度総務財政委員会事業について
 - ・会員増強キャンペーンについて
 - ・他商工会議所との意見交換会について
- (4)令和2年度事業計画(案)・収支予算(案)について
- (5)定款変更(追認)について

5. 報告事項

- (1)会員加入状況について

6. 諸会議の日程について

- ・定例常議員会 6月16日(火) 10:00～ 商工会館
- ・通常議員総会 6月23日(火) 17:00～ みくまホテル

7. 議事概要

定刻となり、樋口事務局長より開会。小ヶ内委員長の挨拶後、委員長が議事を進行。

事務局長より、令和元年度事業報告を説明。

十時会頭 検定事業の実績を見ると、受験者が極端に少ない検定が見受けられるが、検定試験科目の見直しも必要ではないか。

事務局 ご指摘の試験はネット検定試験のキータッチ科目であるが、当所が直接実施する試験ではなく、当所が認定した機関が実施している試験のため、このまま検定試験科目として対応していきたい。なお、当所が実施している試験科目についても、現状の5科目を引き続き実施していきたい。今年は、コロナの影響で検定試験が相次いで中止となっているが、今後の検定試験の受験者増加にむけて高等学校や専門校等にアプローチをかけていきたい。

十時会頭 直接実施科目と認定した機関が実施した科目を報告書内で分かるように明記するように。

梶原委員 卸売業部会の長澤部会長がお亡くなりになったことで、部会長不在となっているが。

事務局 本来であれば、部会を開催したうえで決定される案件であるが、部会規約第6条2項に副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代行し、部会長欠員のときはその職務を行うとありますので、伊藤副部会長に部会長代行として部会運営をお願いし

たいと思っています。

委員長、他に質疑ないか諮るに、異議なく承認される。

次に、令和元年度一般会計収支決算について事務局長より説明。

十時会場 決算書上、運営資金積立金特別会計へ1000万円の積み増しをしているが、令和元年度事業における税務申告にて法人税・消費税等あわせて約510万円を5月29日に納付している。本来であれば、令和元年度決算書に反映すべき内容であるが、令和2年度の会計にて処理しているため、単年度会計で見るとそこまでの積み増しとなっていない。

委員長 令和元年度決算書の末尾に【注記事項】として記載して説明を行うようにして下さい。

委員長、他に質疑ないか諮るに、異議なく承認される。

続いて相談所会計、労働保険会計について野依所長より説明。

委員長、質疑ないか諮るに、いずれも異議なく承認される。

事務局長より、退職給与積立金会計、運営資金積立金会計、財産目録を説明。

委員長 退職給与積立金会計について年度末残高での要支給率はどのくらい。

事務局 年度末で要支給率65%ほどである。

委員長、他に質疑ないか諮るにいずれも異議なく承認される。

相談所長より、ジョブカフェおおいた日田サテライト事業会計、消費税軽減税率対策窓口相談等事業会計、伴走型小規模事業者支援推進事業会計、プレミアム付商品券事業会計について説明。

高倉委員 ジョブカフェ事業における新規就職者81名とあるが、すべて市内在住者の方か。

事務局 市内在住者だけに限られていない。

十時会場 それぞれの事業会計説明時に、事業実施に伴う効果・実績もあわせて説明をいれてほしい。

副会長 伴走型支援事業会計で、当初予算額と決算額が懸け離れた数字となっているが、要因は。

事務局 ミラサポ専門家派遣事業があり、こちらの制度の利用が多くなったために伴走型支援事業での対応が極端に少なくなったため。

委員長、他に質疑ないか諮るにいずれも異議なく承認される。

次に、本年度の総務財政委員会事業について、委員長より当初予定していた会員増強キャンペーンは後期のみ実施することとし、今月の総会にて議員の皆さんに協力要請を行いたい。また、「筑後商工会議所 視察研修」については、コロナがある程度収束が見られたタイミングで先方と調整したうえで実施したいとの説明があり、異議なく承認される。

令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）について、事務局長より4月の総務財政委員会で承認いただいたが、その後コロナ感染拡大の影響で当初の計画や予算の見直しが必要と思われるが、今月の総会においては、そのまま提案させていただき、最終的に常議員会の承認をとりながら補正予算などで対応していきたいと説明。

委員長、質疑ないか諮るに異議なく承認される。

また、定款変更についても、前回の委員会で承認済みであるが、付随する定款変更もあり、追認という形で承認願いたいと説明。

委員長、質疑ないか諮るに異議なく承認される。

最後に、事務局長より会員加入状況及び諸会議の日程を報告し、会議を閉会。（12時05分）